



# 使えるバスへの取り組み 岡山市法定協議会議論

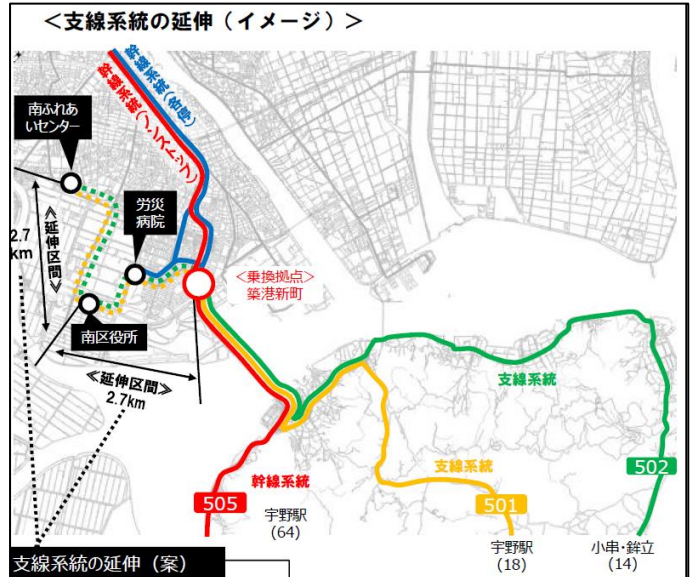
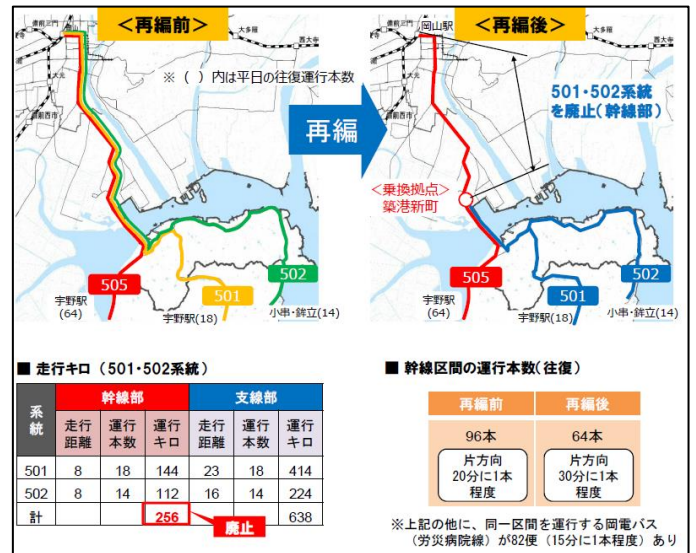
■7/29の岡山市地域公共交通網形成計画協議会の幹事会が開かれ、路線バス網の改変計画が示された。ここには評価できる面も多く、「使えないバス・遅れるバス」から「使えるバス・遅れないバス」への方向付けが出てきている。今回具体的には単なるバス路線計画でなく、岡山市南区の天満屋ハッピータウン前バス停、妹尾駅南口バス乗入れによる乗り継ぎ拠点整備が示され、岡山駅から8方面に延びるJR路線網を生かしながら、バス全体の便利さを高めていこうという方向だ。路面電車駅前乗入れや吉備線LRT化がその地域だけの便利さだけを目指しているかの誤解がある

中で、南区のバス改革に取り組むことは大きな意味がある。

■築港新町バス停は天満屋ハッピータウン最寄りバス停だが、玉野・小串方面と労災病院方面のバス停が別で、しかも東西方向への支線がほとんどなく、南区役所や南ふれあいセンターなどの公共施設にもアクセスできなかった。そこで幹線の重複部分をやや押さえて、支線増便もしくは新たな市役所などの

拠点を結ぶ支線の新設を計るもの。もちろん拠点バス停は屋根、ベンチ、クーラー、情報システム、ICカード積み増し機などは岡山市側が公共施設として整備するというもの。

■また妹尾方面では下電バスと岡電バスの重複路線を少しセーブして、代わりに妹尾駅南口に新たに乗入れ、渋滞の激しい児島線の道路利用をおさえ、特に朝晩はJR瀬戸大橋線に一部転換してもらうという作戦。現状では瀬戸大橋線の普通列車は昼間は1時間に1本しかないが、もう少し増便



NPO 法人公共の交通ラダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail: info@racda-okayama.org

URL: http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索





して欲しいが、まずは電車とバスの乗り継ぎ拠点が整備されれば、流れが変わるだろう。プランでは幹線を減便して昼間は40分に1本と計画するが、できれば30分に1本にしないとお客は離れるだろう。今バスのない妹尾駅南周辺は道路も狭く、小型バスを走らせて妹尾公民館なども通すことを考えているのは素晴らしい。地域交通はまず買い物、病院、駅、続いて公共施設を回ること。道路網の整備に合わせて人の集まる施設が移動し、バス路線がそれに合わないまま放置されていたのが、バス離れの一因である。

■ところで以前この瓦版で紹介した、瀬戸芸の観光需要発生をきっかけとしてバスルートなどを見直した小豆島オーリーブバスと土庄町など協議会の取り組みが交通関係の賞をもらった。

- ・ 新拠点病院の開院や高校開校等に併せ、協議会で路線バスの抜本的な路線の再編の実施。
- ・ バスの上限運賃を片道最高1,180円から300円へ見直し、高校バス通学定期助成制度の創設。
- ・ 瀬戸芸観光需要も見込み、フリー乗車券を従来半額とし、来訪者の利便性と周遊性を確保。
- ・ 駐輪場やシェアサイクルとの連携や観光客向けの時刻表整備等によるバス停整備

バスが病院の軒先まで入り、上限運賃が下がり、高校生の利用が増えたという。なお京丹後市でも市内上限運賃を200円に押さえ、基幹病院をバスターミナルにして大きな成果を上げている。バス便の存続運動やデマンド化でなく、積極的に既存バス業者の運行ノウハウを活用して乗客そのものに助成するなど、「バス会社をお願いする」のでは地域は存続できないとの覚悟が見られる。

■昨年のめぐりん西大寺線参入を契機とした、両備岡電のストライキ、岡山市法定協議会開催などバスをめぐる諸問題が噴出してはや1年。この間最初はおっかなびっくりだった岡山市の対応姿勢も、相当に腰が入ってきたと感じる。岡山市の呼びかけで、国は公共交通のフォローアップ会議を開催、バス路線調整の独禁法関係の整理もついてきたし、今後は生活交通部分に福祉や観光のお金をどう組み込んでいくかなど制度設計も進むだろう。だがバス交通は実は地域の人口を支えているというもっと深い議論が必要だろう。単に高齢者の免許返上後の代替手段としてでなく、すべての人が利用できる手軽な交通手段としてバスは必要なのである。(図は岡山市ホームページから転載)

### ■第17回全国バスマップサミット岡山 開催概要

令和1年12月14日(土) 13時~17時 課題「あの岡山でMaaSは出来るか」  
 本会議会場 岡山市勤労者福祉センター (〒700-0905 岡山市北区春日町5-6)  
 プログラム 基調報告1(案) . MaaSの第一歩、公共交通情報のオープンデータ  
 基調報告2(案) . 交通シミュレータによるコントロール  
 基調報告3(案) . 観光交通が地域を救うか  
 基調報告4(案) . 岡山・香川の行政などの取り組み  
 シンポジウム 「あの岡山でMaaSは出来るか」

終了後、別会場にて懇親会開催(100名規模)

参加人数 全国から市民団体、大学、事業者、コンサル、行政関係など100名+地元50名

主催 全国バスマップサミット実行委員会 幹事団体 NPO法人公共の交通ラクダ